

### 第3回幼児教育あり方研究部会要旨

・日時 令和2年10月14日午後6時30分より

#### ◇協議事項

- (1) 第2回部会の際、年長児のみ小学校と併設した施設の園児の様子について調べて欲しいとの意見が出され該当事例について調べたが、年長のみ併設している保育園分園はすぐ隣に年中以下の園児が過ごす保育園本園があり、毎日交流していた。本園が併設しているケースでは年中、年長が在籍しており、年長のみ併設している事例は見当たらなかった。
- (2) 軽井沢風越学園視察報告(別紙)
- (3) 定例教育委員会、総合教育会議での議論について
  - ・定例教育委員会で出された老人福祉施設を誘致し、併設することも検討されたい。との意見に対し、高齢の方と幼児と共に過ごすことはお互いに良い影響があるとの意見が出された。
- (4) 答申(素案 別紙)について

併設の定義について	【教育長】目指すのは教育の一貫性であり、施設は一体型、隣同士及び少し離れた場所にあるなど幅があっても良く重要ではない。子どもや先生同士の交流のプログラムがどれだけ確保できるかが大切なことである。
重要な点	<p>【高瀬中秋山校長】答申(素案)にある基本方針(3)「保小中15年プランに基づき、幼児期の子どもが小学生と日常的に学び合い育ち合える環境を作るため」という所が重要。建物など物的環境ではなく、保育士と教諭と一緒に子どもを育てていくという人的環境が大切である。</p> <p>学校に保育園等を併設する際の、全体的な主なメリットにある「職員としても他の保育、教育機関の方針、子どもの様子がわかりやすく、保小中接続に取り組みやすい。」という点に通じる。</p> <p>【会染保育園丸山園長】保育園の職員として、会染小学校の敷地内への併設を一番希望したい。会染保育園は施設の老朽化や建設地に防災上課題はあるが、自然が豊かで子どもを育てるにはとても良い場所である。</p> <p>会染小学校も自然が豊かな場所にある。また小学校と保育園の職員が一体となって同じ方向で保育、教育を進めていくためにも大切な点である。</p> <p>【保育園荒井連絡協議会長】会染地区の保護者が子どもを保育園に送迎するには小学校より北に行くとなると大変である。会染小学校に併設を希望したい。</p>
小学校統廃合問題に関連して両方の小学校に併設をするのか	<p>【和澤町議会議員】町民の中には小学校の統廃合を望む声がある。現在町財政が厳しい折、更に統合すれば多くの経費削減になるとの声もある。その声を無視は出来ず、統廃合となった場合も対応できるように文面の修正が必要ではないのか。</p> <p>→【教育長】その声を無視する訳ではない。町民の多くがそれを希望するのであれば否定は出来ないが、現在統廃合をしなければならぬ程児童数は減少していない。現時点では小学校の存続を前提に進めたい。</p>

	→ 他にも会染小学校の環境が良いし、児童は会染文化を誇りに思っている。という点や児童の数が減り複式学級となっても縦割りの良さを生かした教育が見直されているという点からも統廃合を希望しない意見が複数あり。
小学校への併設を希望	【高瀬中秋山校長】 中学校に併設との案が出されているが、あくまでも小学校との併設が今まで出された意見により大事である。
両方の小学校への併設を希望	池田・会染地区を同じ条件とするため両方の小学校との併設を希望する意見複数有。
保育園又は幼稚園を併設とした点について	【教育長】 今後条件を整理しながらどちらにするか決めていきたい。 →【会染保育園丸山園長】 認定こども園を併設としておけば、「保育」と「教育」の両面があるので良いのではないか。
【今後の進め方について】	・保護者、保育士からご意見をいただき、更に検討を深めたい。特に保護者への説明、意見聴取を丁寧に行っていききたい。 ・インクルーシブ教育を進めるためにも特別支援学級の在り方についても検討を深めたい。